



## 第10回 アスリート委員会

2019年2月8日

- 資料1 ダイバーシティ&インクルージョンの推進とD&I宣言について
- 資料2 2018年の組織委員会活動報告について
- 資料3 東京2020参画プログラムの現状について
- 資料4 アクション&レガシー ファイナルレポートについて
- 資料5 WG1の活動について
- 資料6 WG2の活動について
- 資料7 東京2020みんなのスポーツフェスティバルについて
- 資料8 レガシー・レポーティング・フレームワークについて

# ダイバーシティ & インクルージョンの推進と D&I宣言について

---

## 1. 目的：大会ビジョン「多様性と調和」を実現した東京2020大会の実施

大会ビジョンの実現には、ダイバーシティ & インクルージョンの推進が不可欠

- ✓ 東京2020メンバーがD&Iを理解し、多様な人材がいきいきと活躍できる職場環境づくり
- ✓ 東京2020大会の計画・運営にD&Iの視点を反映させ、誰もが心から楽しめるサービスを提供
- ✓ ステークホルダーや関係機関にもD&Iの考えを共有
- ✓ 大会終了後、東京2020大会で得たD&Iの意識を一人ひとりが新たなフィールドで実践

## 2. アクションワード

**Know Differences,  
Show Differences.**

## ● D & I ハンドブック

ハンドブックを作成、組織内で共有。D&Iについての組織委員会としての考え方、また基本的な理解を促進するために4つの違い（文化・性・世代／ライフステージ・心身機能）について紹介

## ● D&I接遇・サポート研修

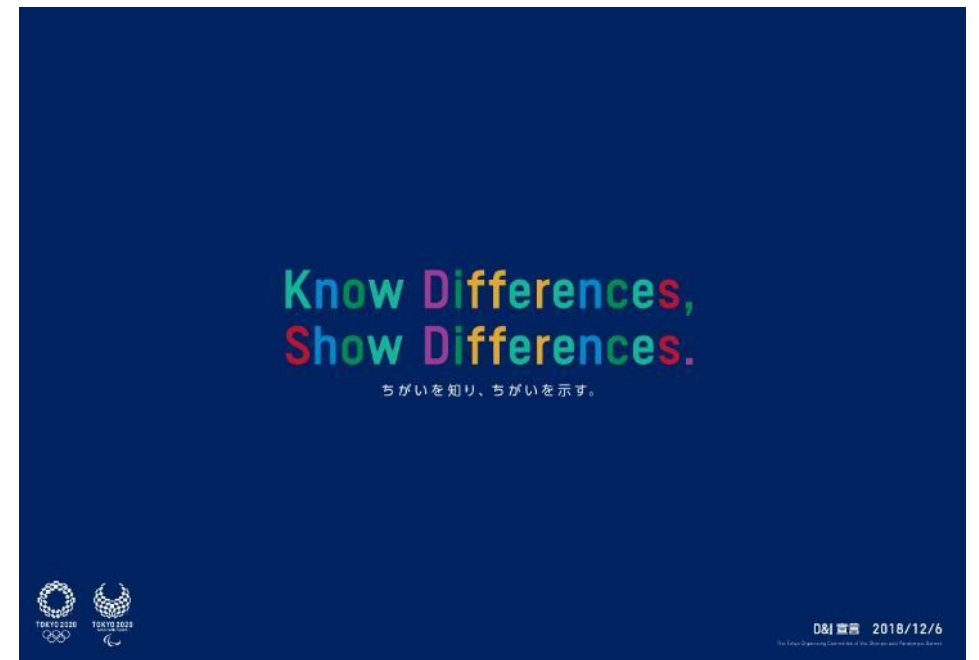
障がい当事者の職員が講師をつとめ、職員を対象にした研修を2016年から実施

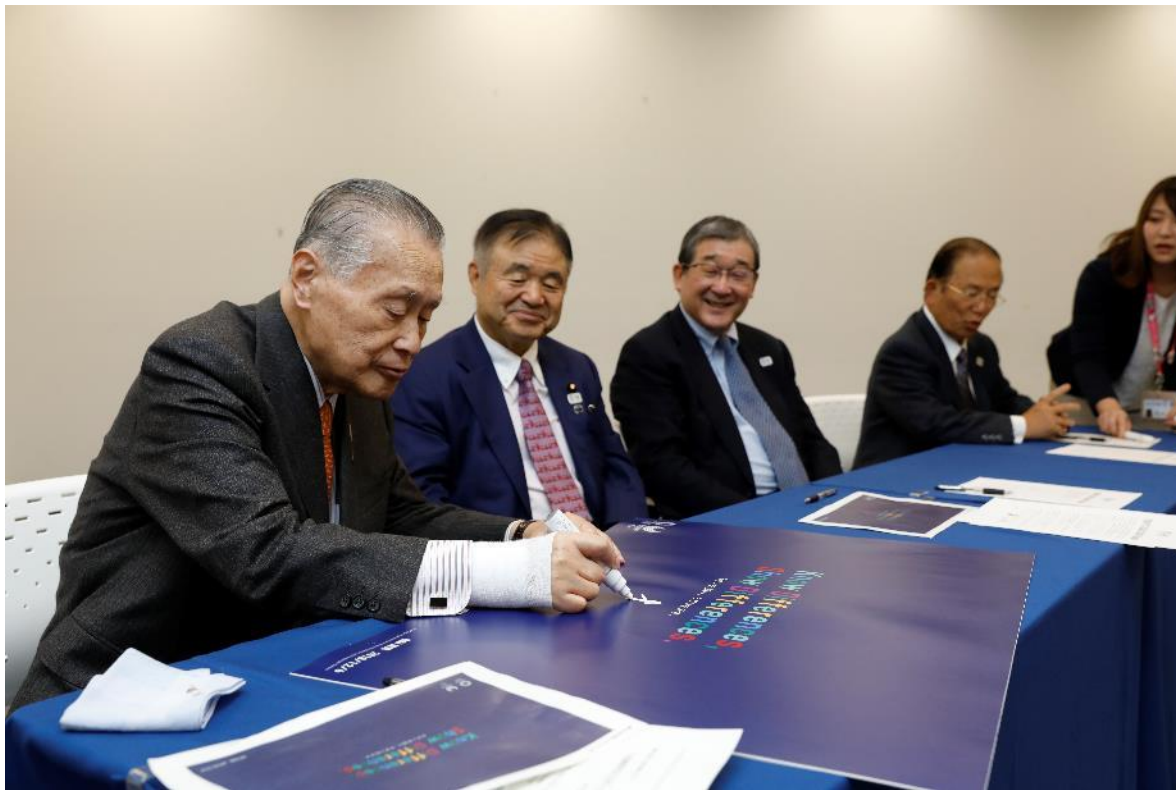
## ● PRIDE指標

職場におけるLGBTなどのセクシュアル・マイノリティへの取り組みを評価。「シルバー」と「ベストプラクティス」を受賞（2018年10月）

- 目的 ①人権・ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進の意識向上  
②D&Iにおけるリーダーシップの重要性の再認識
- 対象 全職員
- 各職場への展開

局又は部単位でポスターに寄せ書き風に署名  
署名した職員にはD&I推進ステッカー配布







## Tokyo 2020 D&I宣言

東京2020大会では、大会ビジョンとして、「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」、「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」、「そして、未来に繋げよう（未来への継承）」を3つの基本コンセプトとして、史上最もイノベティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会とすることを掲げています。

大会まであと2年をきったこの時期に、私たちがダイバーシティ&インクルージョン（D&I）を尊重・推進していくことを組織内外に強く発信するため、ここに、Tokyo 2020 D&I推進を宣言します。

1. 大会ビジョンの実現、ひいては東京2020大会の成功に向けてD&Iを不可欠な要素と意識し、組織委員会全体がOne Teamとなつて、東京2020大会に関わるすべての人が心から楽しめるようなサービスを提供するため、大会計画・運営を進めていきます。
2. 多様な才能とアイデアが集まることで、思いもよらないイノベーションが生まれます。私たち一人ひとりが互いの違いを理解し、尊重し合い、持てる力を最大限に発揮し、いきいきと働ける環境を整備します。
3. 組織委員会のみならず、全てのステークホルダー、開催都市、開催国等大会デリバリーパートナーにもD&Iの考え方を共有し、大会後には、日本社会にD&Iの考え方をレガシーとして根付かせるため、東京2020大会で得たD&Iの意識を新たなフィールドで実践しつづけます。

年 月 日 署名

# 2018年の組織委員会活動報告について

---



# 東京2020大会の概要

## 競技日程

オリンピック(17日間)

7月24日  
~8月9日

パラリンピック(13日間)

8月25日  
~9月6日

## 選手数

オリンピック

11,090人

パラリンピック

4,400人

## 競技数・種目数

オリンピック

33競技 339種目

パラリンピック

22競技 540種目

## 会場

全数

43会場

うち

都外

18会場



## 職員数

現在(2018年12月時点)

2.0千人

大会時(予定)

8.0千人

## ボランティア

11万人以上

〈内訳〉

大会ボランティア8万人

都市ボランティア3万人以上

# 2018年の主な活動報告事項

1. 競技会場及び競技スケジュールについて
2. 開会式・閉会式について
3. 聖火リレー・聖火台について
4. 東京2020大会マスコット決定
5. ボランティアについて
6. 大会チケットについて
7. 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」
8. 機運醸成に向けた主な取組み
9. 復興に関する主な取組み
10. 大会予算V3

# 1-1) 競技会場

- ・ 競技は東京1964大会のレガシーを引き継ぐ**ヘリテッジゾーン**、都市の未来を象徴する**ベイゾーン**のほか、地方会場で実施。
- ・ 2018年5月までに新たに競技会場が決定され、最終的にオリンピックは42会場（33競技）、パラリンピックは21会場（22競技）で確定。
- ・ 青海、お台場、有明地区において、祝祭空間を創出するアーバンクラスター構想が進展。
- ・ 晴海に選手団が宿泊する選手村を建設。宿泊施設以外にもオフィシャルストア・ヘアサロン・雑貨店、総合診療所、スポーツジム、ダイニングホール等を整備。

## <競技会場例>

福島あづま球場（野球・ソフトボール）



有明BMXコース完成予想図（自転車競技・スケートボード）



会場詳細は、東京2020組織委HPを参照  
<https://tokyo2020.org/jp/games/venue/>



# 1-2) 競技スケジュール(オリンピック)

## 競技スケジュールの策定

- ・ オリンピック各競技のセッションスケジュールを公表(2018年7月、9月、12月)。
- ・ スケジュールの詳細(種目ごとの日程など)を現在策定中。

## 主な競技スケジュール



○競泳  
7月25日(土)～8月2日(日)



○体操競技  
7月25日(土)～7月30日(木)  
8月2日(日)～8月4日(火)



○ラグビー  
7月27日(月)～8月1日(土)

- ・ 19日間に及ぶ、史上最多33競技339種目を42の競技会場で実施。
- ・ 日本各地で競技が行われ、より多くの方々に大会の熱気を感じて頂く。



# 1-3) 競技スケジュール (パラリンピック)

## 競技スケジュールの策定

史上最多4,400名※の世界のパラリンピアンによる、12日間の戦いのセッションスケジュールが決定(2018年10月)。

## 主な競技スケジュール



○車いすテニス  
8月28日(金)～9月5日(土)



○ウィルチェアーラグビー  
8月26日(水)～8月30日(日)



○ゴールボール  
8月26日(水)～9月4日(金)

- ・ 8月25日の開会式翌日から9月6日の閉幕まで、12日間にわたり22競技540種目が21会場で実施。
- ・ 大会全体を通じて盛り上がりが続くよう、人気競技がバランスよく配置。

※選手数の上限

## 2) 開会式・閉会式について

4式典を一体と捉え、統一あるものとするために全体のプラン・ストーリーを作成する。

### <4式典のあり方>

#### 【オリンピック開会式】

- ・国内外からの注目度が非常に高い式典であり、世界から集うアスリートや観客を歓待する。
- ・東京2020大会の幕開けの式典として4つの式典の萌芽である。
- ・東京2020大会の担う歴史的意義や社会的意義、招致時のコンセプトに鑑みて4式典を貫くポジティブなメッセージを世界に発信する。

#### 【パラリンピック開会式】

- ・東京は二度目の夏季パラリンピックを開催する史上初の都市であり、中でも開会式は世界中の注目を集める機会である。
- ・違いを認め合い、支え合い、活かしあうことで、多様で平等な共生社会を目指すことを世界に伝える。
- ・多様なものを様々にかけ合わせることで、既成概念を超えた新しい可能性を探り、人々の意識を変えるきっかけにする。

#### 【オリンピック閉会式】

- ・競技を終えたアスリートの健闘を称える。また、アスリートに限らず、人々の心に感動を残した方々も讃えたい。
- ・アスリートだけでなく観客も巻き込み、国を超えた一体感を生み出す。
- ・その熱気と興奮を、続いて開催されるパラリンピックへと引き継ぐ。

#### 【パラリンピック閉会式】

- ・パラリンピックのフィナーレであるとともに、東京2020大会の全体を締めくくるフィナーレでもある。
- ・持続可能な社会に向けて、「和」の精神に基づき、自然や人間社会がバランスをとり、共存していく新しい時代のスタートラインとする。
- ・世界の調和と明るい未来への可能性を示し、子どもたちや若い世代への継承の場とする。

### <演出企画の実施体制>

氏名	肩書等	制作体制
野村萬斎	狂言師	チーフ・エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター（東京2020大会総合）
山崎貴	映画監督	エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター（オリンピック担当）
佐々木宏	クリエイティブ・ディレクター	エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター（パラリンピック担当）

氏名	肩書等	制作体制
川村元気	映画プロデューサー／小説家	クリエイティブ・ディレクター（東京2020総合チームメンバー）
来栖良依	クリエイティブプロデューサー クリエイティブディレクター	
椎名林檎	演出家・音楽家	
菅野薫	クリエイティブディレクター クリエイティブテクノロジスト	
MIKIKO	演出振付家	

# 14 3-1) 聖火リレーについて

## ・東京2020オリンピック聖火リレー

コンセプト 「希望の道を、つなごう。 Hope Lights Our Way」

### ギリシャ聖火式から日本に聖火が到着するまで

(参考) 東京2020オリンピック聖火リレー 各都道府県 実施日一覧

3/12(木)  
ギリシャ古代オリンピア市 聖火採火式

3/12(木)~3/19(木)  
ギリシャ国内聖火リレー

3/19(木)  
ギリシャアテネ市にて聖火引継式

3/20(金)  
宮城県航空自衛隊松島基地に到着

3/20(金)~25(水)  
宮城県・岩手県・福島県で「復興の火」として  
展示



**福島県から日本全国を回る**

**東京2020オリンピック聖火リレーがスタート!**

都道府県名	日 程	都道府県名	日 程	都道府県名	日 程
① 福島県	3/26(木)~3/28(土)	⑱ 鹿児島県	4/28(火)~4/29(水)	⑳ 富山県	6/3(水)~6/4(木)
② 栃木県	3/29(日)~3/30(月)	⑲ 沖縄県	5/2(土)~5/3(日)	㉑ 新潟県	6/5(金)~6/6(土)
③ 群馬県	3/31(火)~4/1(水)	⑳ 熊本県	5/6(水)~5/7(木)	㉒ 山形県	6/7(日)~6/8(月)
④ 長野県	4/2(木)~4/3(金)	㉑ 長崎県	5/8(金)~5/9(土)	㉓ 秋田県	6/9(火)~6/10(水)
⑤ 岐阜県	4/4(土)~4/5(日)	㉒ 佐賀県	5/10(日)~5/11(月)	㉔ 青森県	6/11(木)~6/12(金)
⑥ 愛知県	4/6(月)~4/7(火)	㉓ 福岡県	5/12(火)~5/13(水)	㉕ 北海道	6/14(日)~6/15(月)
⑦ 三重県	4/8(水)~4/9(木)	㉔ 山口県	5/14(木)~5/15(金)	㉖ 岩手県	6/17(水)~6/19(金)
⑧ 和歌山県	4/10(金)~4/11(土)	㉕ 島根県	5/16(土)~5/17(日)	㉗ 宮城県	6/20(土)~6/22(月)
⑨ 奈良県	4/12(日)~4/13(月)	㉖ 広島県	5/18(月)~5/19(火)	㉘ 静岡県	6/24(水)~6/26(金)
⑩ 大阪府	4/14(火)~4/15(水)	㉗ 岡山県	5/20(水)~5/21(木)	㉙ 山梨県	6/27(土)~6/28(日)
⑪ 徳島県	4/16(木)~4/17(金)	㉘ 鳥取県	5/22(金)~5/23(土)	㉚ 神奈川県	6/29(月)~7/1(水)
⑫ 香川県	4/18(土)~4/19(日)	㉙ 兵庫県	5/24(日)~5/25(月)	㉛ 千葉県	7/2(木)~7/4(土)
⑬ 高知県	4/20(月)~4/21(火)	㉚ 京都府	5/26(火)~5/27(水)	㉜ 茨城県	7/5(日)~7/6(月)
⑭ 愛媛県	4/22(水)~4/23(木)	㉛ 滋賀県	5/28(木)~5/29(金)	㉝ 埼玉県	7/7(火)~7/9(木)
⑮ 大分県	4/24(金)~4/25(土)	㉜ 福井県	5/30(土)~5/31(日)	㉞ 東京都	7/10(金)~7/24(金)
⑯ 宮崎県	4/26(日)~4/27(月)	㉝ 石川県	6/1(月)~6/2(火)		

- ・都道府県の実施日数について、開催都市東京都については15日を設定。
- ・東日本大震災被災3県(岩手、宮城、福島)、複数種目を実施する4県(埼玉、千葉、神奈川、静岡)については、各県3日を設定。
- ・上記都県以外は各道府県2日と設定。(移動日を含め合計121日)

## ・東京2020パラリンピック聖火リレー

コンセプト 「あなたは、きっと、誰かの光だ。 Share Your Light」

- ・開催都市東京都、パラリンピック競技開催県(埼玉県、千葉県、静岡県)においてトーチで火をつなぐリレーを実施。
- ・4都県を除く43道府県については、採火などを通じてなるべく多くの道府県に参画いただけるように今後調整。



# 15 3-2) 聖火台について

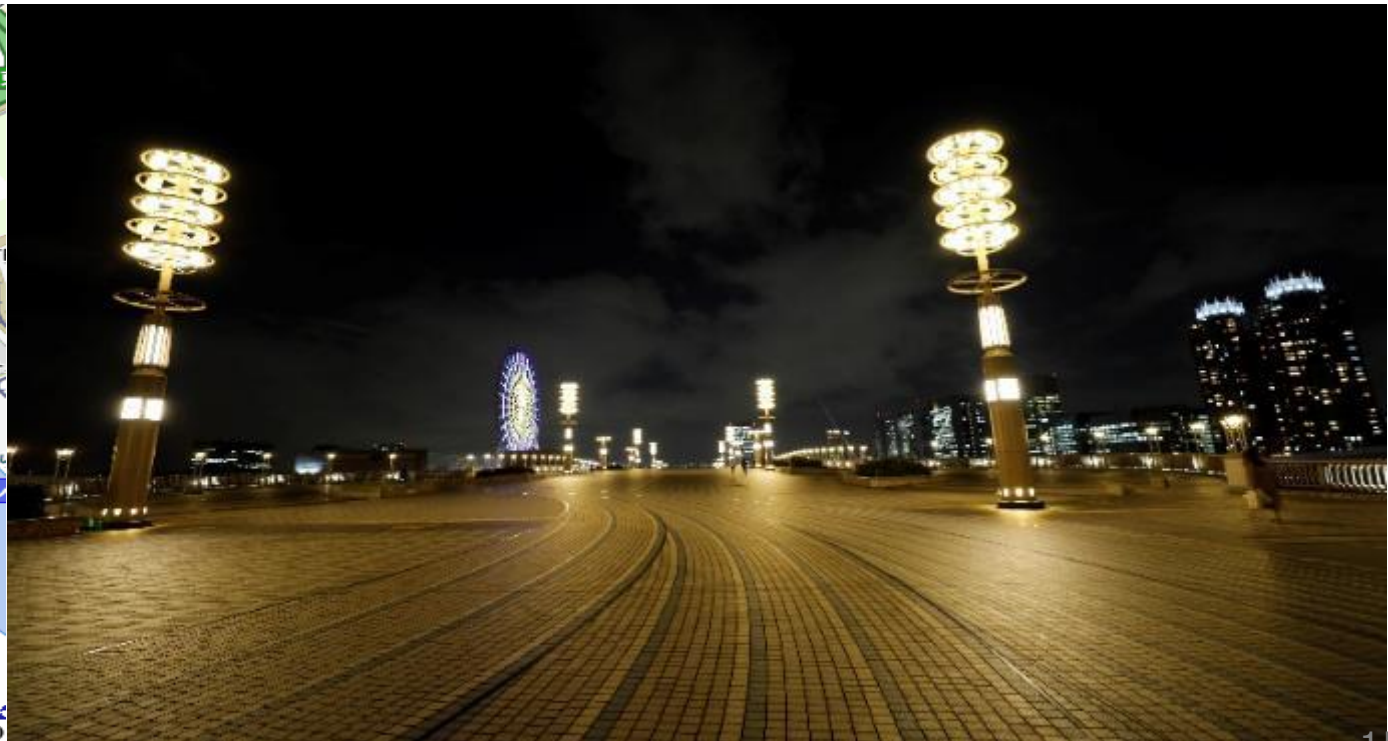
## 【製作台数】

式典用と競技期間用の2台の聖火台を製作する。

## 【競技期間中の設置場所について】

東京臨海部夢の大橋有明側を聖火台設置場所候補地としてIOCへ提案。

<設置場所> 東京臨海部 夢の大橋 有明側 (江東区有明3丁目付近)



# 4-1) 東京2020大会マスコット決定

## 史上初、大会マスコットを小学生の投票で決定

(小学部を置く特別支援学校や海外の日本人学校、国内の外国人学校、不登校児童が通う施設等を含む)

### マスコット決定までの流れ

2017年8/1~14 大会マスコット募集 2,042件応募

12/7 大会マスコット候補 3案発表

12/11~2018年 全国の小学校での、学級単位での投票

2/22

**【投票総数】 16,769学校、205,755学級**

**(全国の小学校の約8割)**





# 4-2) 東京2020大会マスコット決定

- ・2018年7月22日、マスコットの名前が決定し、正式にデビュー。
- ・その後、2年前イベント(7月24日オリンピック、8月25日パラリンピック)や、アスリートと共に実施する競技体験イベントといった様々な場面でマスコットが登場。



伝統と近未来がひとつになった  
温故知新なキャラクター。

伝統を大切にしながら、つねに最新情報もキャッチしています。

正義感が強く運動神経バツグンで、どんな場所にも瞬間移動できます。

伝統の市松模様と近未来的な世界観から生まれました。



ミライトワ  
MIRAITOWA

○名前の由来

ミライトワという名前は、「未来」と「永遠(とわ)」というふたつの言葉を結びつけて生まれました。

東京2020大会を通じて、世界の人々の心に、希望に満ちた未来をいつまでも輝かせます。



ソメイティ  
SOMEITY

○名前の由来

ソメイティという名前は、桜を代表する「ソメイヨシノ」と非常に力強いという意味の「so mighty」から生まれました。東京2020大会を通じて、桜を愛でる日本の心とパラリンピックアスリートの素晴らしさを印象づけます。

桜の触角と超能力を持つクールなキャラクター。

いつもは物静かなのに、いざとなるとパワフル。

強い信念と自然を愛する優しさがあり、石や風と話したり、見るだけで物を動かします。

市松模様と桜を力強く表現して生まれました。

# 5-1) ボランティアについて

・大会ボランティアは、競技会場や選手村、その他大会関連施設で、観客サービスや競技運営のサポート、メディアのサポート等、大会運営に直接携わる活動を実施。

・応募完了者数204,680人  
(大会ボランティアマイページ登録者数262,437人)

- ・男女比:男性36%、女性64%
- ・国籍:日本国籍64%、日本国籍以外36%
- ・11日以上の活動を希望する方が6割を超える
- ・各世代バランスよく応募

項目	大会ボランティア募集要項 (抜粋)
募集人数	80,000人
応募に当たって	2002年4月1日以前に生まれた方 日本国籍又は日本に滞在する在留資格を有する方
応募期間	2018年9月26日～12月21日 (視覚に制約のある方等は除く)
活動分野と人数	活動分野、主な活動内容、人数の目安
役割等の決定方法	希望する役割等と実際の役割等のマッチングにより決定。 マッチング不成立の際は、2019年9月頃に通知
活動期間・時間	10日以上を基本、休憩・待機時間を含む1日8時間程度
活動時にお渡しする物品等	ユニフォーム、活動中の飲食、ボランティア活動向けの保険、活動期間中における滞在先から会場までの交通費相当として1,000円/日

※都市ボランティアについては、都及び関係自治体で募集

# 5-2) ボランティアについて

## ・ボランティアのネーミング

- ・大会の顔となるボランティアについては、愛称（ネーミング）をつけるのが慣例。  
※ロンドン 大会）ゲームズメーカー、都市）ロンドンアンバサダー
- ・東京大会では、参画を促す観点からボランティア応募者による投票を実施。
- ・投票期間：12月12日（水）～1月20日（日）
- ・最終案発表：1月28日（月） フィールドキャスト/シティキャストに決定
- ・ネーミングは、大会ボランティア（大会スタッフ含む）及び都市ボランティアのネーミング。

大会スタッフ・ボランティア ネーミング

都市ボランティア ネーミング

**Field Cast**

フィールド キャスト

**City Cast**

シティ キャスト

■競技場などで選手と関わりながら活躍する人、そして、競技場と競技場を結ぶ街でみなさんと関わりながら活躍する人がいます。ボランティアひとりひとりに、大会を盛り上げる重要な役割を担ってほしい。そんな願いをキャスト（配役）という言葉に込めました。

## ・ボランティアのユニフォーム

「大会スタッフ・都市ボランティアのユニフォームデザイン選考委員会」を設置し、デザイン選考中。

※（最終選考）2019年2月下旬～3月中旬

# 6) 大会チケットについて

## 史上最大級のチケットティング・イベント

(プロ野球1球団の4~5年分のチケットを約1ヶ月間で取扱うプロジェクト)

- 2018年7月から東京2020大会公式チケット販売サイトでチケットを購入するための、TOKYO 2020 IDの登録開始
- チケット発売は2019年春以降

	開会式	閉会式	競技一般チケット
オリンピック	12,000円~300,000円	12,000円~220,000円	2,500円~130,000円
パラリンピック	8,000円~150,000円	8,000円~90,000円	900円~7,000円

### 過去大会のチケット規模(概算数)

ロンドン大会 1037億円 / 1080万枚  
リオ大会 509億円 / 821万枚

### 東京大会のチケット規模(招致ベース)

オリンピック 772億円 / 780万枚  
パラリンピック 48億円 / 230万枚  
合計 820億円 / 1010万枚



※チケット枚数・価格等については変更の可能性あり。

『チケット完売・売上の最大化』と『フルスタジアムの実現』の両立がポイント

# 7)「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」

## オリンピック・パラリンピック史上初の取り組み！リサイクル率100%を目指す！

使用済み携帯電話等の小型家電から製作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を実施。このプロジェクトを通じて、金・銀・銅あわせて約5,000個のメダルを製作予定。

### 【メダル製造に必要な金属の確保状況】

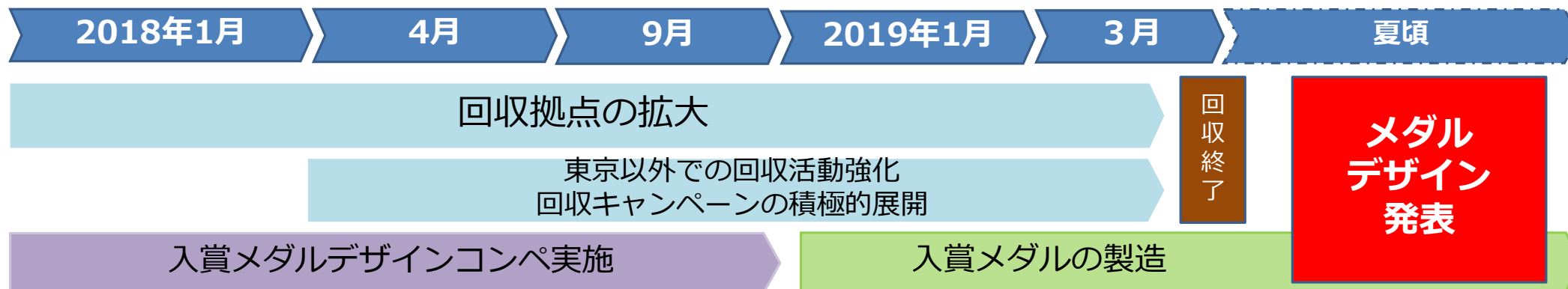


※最終的な納入量に対する納入済み金属量および2018年10月末までの小型家電等の回収量に基づく納入見込み量の合計の割合

※銅については2018年6月までの回収量で100%を達成

- 全体の約9割にあたる1,594の自治体、パートナー企業等が回収に参加
- メダル製造に必要な金属量を確保できる見通しが立ったため、2019年3月31日を持って回収を終了
- 2019年夏頃に予定しているデザイン発表に向けて、メダルデザインコンペティション(421名エントリー)をはじめ、平面デザイン審査や、立体デザイン審査を複数回実施。

### 【スケジュール(イメージ)】





# 8-1) 機運醸成に向けた主な取組み

一人でも多くの方が参画し、大会をきっかけにした成果を未来につなげるため、オリンピック・パラリンピックの機運を醸成。

主なイベント	取組内容
東京2020参画プログラム	様々な組織・団体が東京2020大会の盛り上げ、大会後のレガシー創出を目指し、2020年に向けてオールジャパンで取り組む参加型のプログラムを実施（2016年10月～）。
東京Nipponフェスティバル	世界から注目が集まる時期に東京2020大会公式文化プログラムとして、我が国の誇る文化を国内外に強く発信（2020年4月頃～）。
開幕まであと2年！ 2 Years to Go！	カウントダウンセレモニーを行い、開催まで2年の節目を祝い一体感を強化（2018年7月・8月）。
東京五輪音頭-2020-	1963年に三波春夫さんをはじめ多くの方々に歌い継がれてきた東京五輪音頭を現代版にリメイク。夏祭りの会場から盛り上げ（2017年7月～）。
フラッグツアー	東京の市区町村を巡ったフラッグと共に、日本全国にオリンピック・パラリンピックの価値を伝達（2016年10月～）。



# 8-2) 機運醸成に向けた主な取組み

## コアグラフィックスの決定

コアグラフィックスは、会場装飾、都市装飾以外にも、競技備品やチケット等広く展開され、大会を印象付けるデザインとなります。今後、コアグラフィックスを展開させたデザインの装飾等は、2019年春頃実装を行う予定です。

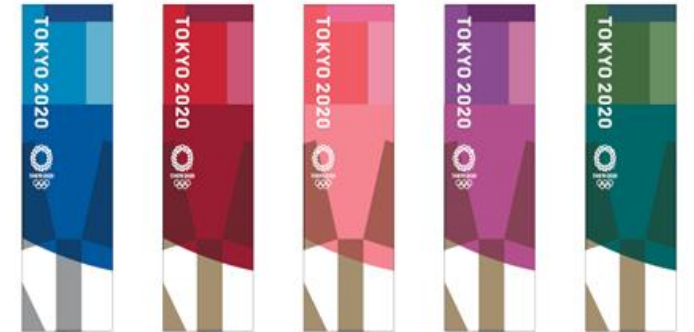
Tokyo2020コアグラフィックス



Tokyo2020横型装飾バナー 展開例



Tokyo2020縦型装飾バナー 展開例



コアグラフィックスのデザインモチーフとして"かさねの色目"を用います。

「かさねの色目」とは、十二単（じゅうにひとえ）に代表される色の組み合わせのひとつで、日本の四季折々の自然の色合いを重ね合わせた、日本の美や美意識を象徴する文化のひとつと言えます。

# 8-3) 機運醸成に向けた主な取組み

## 国連とのSDGsの推進協力に関する基本合意書へ署名

11月14日、国際連合と東京2020大会を通じたSDGsの推進協力に関する基本合意書へ署名しました。国際連合とSDGsについて基本合意書を締結するのは、歴代のオリンピック、パラリンピック組織委員会として初めてのこととなります。





# 8-4) 機運醸成に向けた主な取り組み

## 東京2020オリンピック公式映画の監督に河瀬直美さんが就任

**河瀬 直美** 1969年 奈良県生まれ

(主な作品)

「萌の朱雀」 **カンヌ映画祭カメラドール(新人監督賞)**

「火垂」 **ロカルノ国際映画祭国際批評家連盟賞  
ヨーロッパ国際芸術映画連盟賞**

「殞の森」 **カンヌ映画祭グランプリ (審査員特別大賞)**

「あん」 **バリャドリッド国際映画祭最優秀監督賞  
バレッタ映画祭最優秀作品賞**

「光」 **カンヌ国際映画祭エキュメニカル賞**



# 9) 復興に関する主な取組み

## オリンピック聖火リレー

- ・オリンピック聖火リレーの出発地を福島県とするとともに、東日本大震災の被災3県（岩手、宮城、福島）については、各県3日に設定。
- ・聖火リレー開催に先立ち、ギリシャで採火した聖火を「復興の火」として被災3件で順次展示。

## 福島あづま球場・宮城スタジアム

- ・福島あづま球場で野球・ソフトボールを実施。
- ・宮城スタジアムでサッカーを実施。

## 東京2020理事会

- ・福島県（ナショナルトレーニングセンターJヴィレッジ）で理事会を開催。同日、理事会に先立ち、3県関係者を交えた意見交換会を実施（2018年7月）。

## スポーツの力で被災地を応援 ～若手アスリート参画プロジェクト～

被災地で行われたイベントにアスリートを派遣し、スポーツ等を通して、被災地の子どもたちとの交流を行った。



## 復興のモニュメント

- ・「感謝・応援～支援への感謝や選手への応援を伝えたい～」。
  - ・「感謝・感動～応援への感謝やスポーツの持つ力を被災地に届ける～」。
- をコンセプトにモニュメントを製作予定。

## ワールドプレスブリーフィングレセプション

国内外のプレスなどに対し、被災3県の食材を活用した夕食会を実施（2018年9月）。

## 大会を通じた取組例（東京都と共催）

### フラッグハンドオーバーセレモニー

- ・世界中の人々からの支援への感謝を発信



### ジャパンハウスでの発信

- ・元気を取り戻しつつある東北の姿を紹介



リオから世界へ

リオから被災地へ

### ライブサイト

- ・岩手県盛岡市
- ・宮城県仙台市
- ・福島県福島市



平昌から被災地へ

### ライブサイト

- ・岩手県盛岡市
- ・宮城県仙台市
- ・福島県郡山市
- ・熊本県熊本市



# 10) 大会経費V3

- 大会経費V3を発表。(2018.12.21) (V2と同額)
- 東京都と国が負担するその他の経費も、V2に引き続き7,500億円となっており、組織委員会とその他の経費を合わせた大会経費V3の総額は1兆3,500億円で、V2と同額。

## 【参考】経費分担試算(V3予算)

項目	組織委員会	東京都	国	合計
恒久施設	—	2,250億円	1,200億円	3,450億円
仮設等	950億円	2,100億円		
エネルギーインフラ	150億円	250億円	200億円	4,650億円
テクノロジー	700億円	300億円		
会場関係小計	1,800億円	4,900億円	1,400億円	8,100億円
	(400億円)	(200億円)	(200億円)	(800億円)
輸送	350億円	250億円		
セキュリティ	200億円	750億円		
オペレーション	1,050億円	100億円	100億円	5,400億円
管理・広報	650億円	0億円		
マーケティング	1,250億円	0億円		
その他	700億円	0億円		
大会関係小計	4,200億円	1,100億円	100億円	5,400億円
	(200億円)	(100億円)	(100億円)	(400億円)
計	6,000億円	6,000億円	1,500億円	13,500億円
	(600億円)	(300億円)	(300億円)	(1,200億円)

(注1) このほかに予備費1,000億円~3,000億円があります。これにより、予期せずに発生し得る、緊急に対応すべき事態等に対処します。

(注2) ( ) は、うちパラリンピック経費分です。

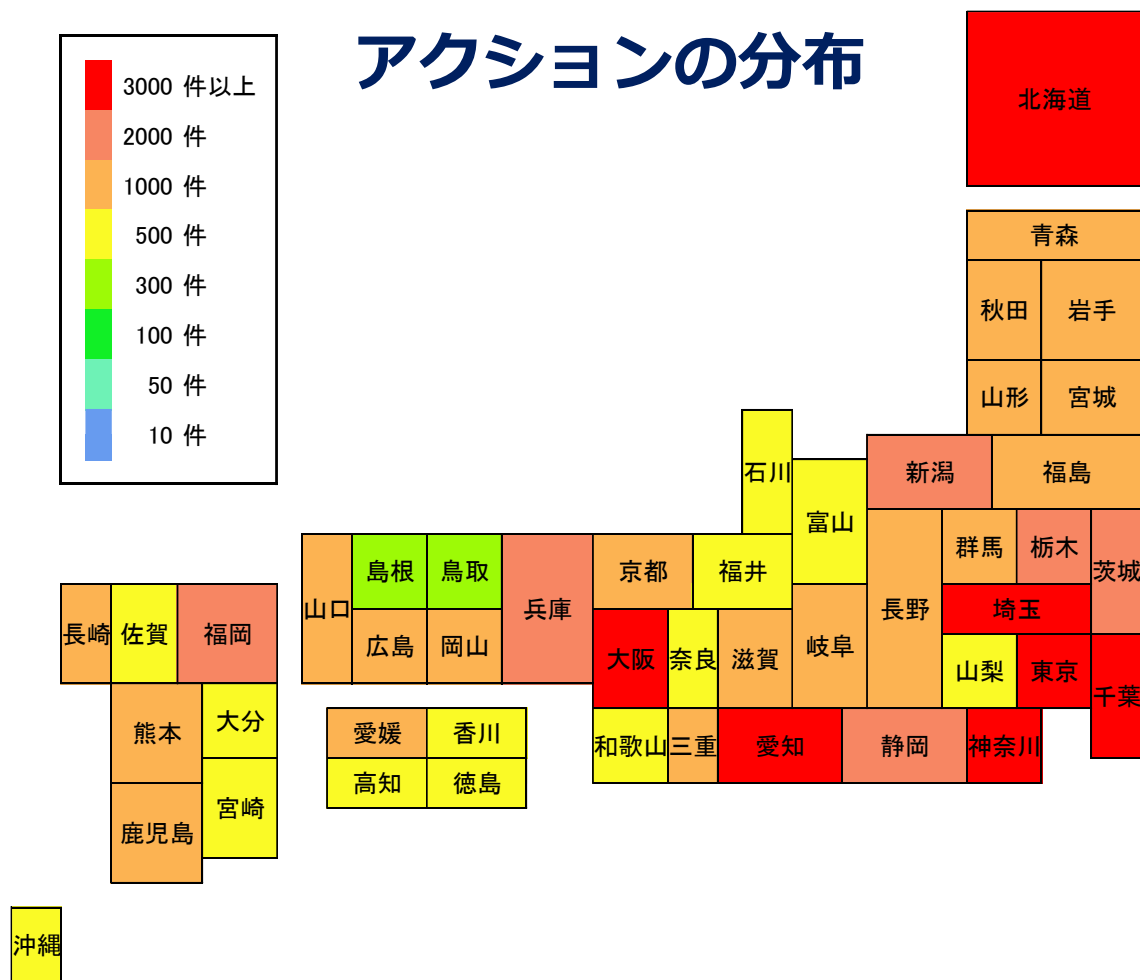
# 東京2020参画プログラムの現状について

---



# 参画プログラム ①オールジャパンでの参画状況

- 2019年1月時点で、**約91,000件** のアクションを認証
- 全国へと広がる認証アクションへの参加人数は、**約6,000万人!!**



# 参画プログラム ②アクション事例

スポーツ  
健康

## 【内閣官房ホストタウンアクション】

○実施日：2018年2月～

○主 催：ホストタウン登録自治体

○内 容：

住民等との交流又は当該交流に伴い行われる取組。大会等に参加するために来日する選手等、大会参加国・地域の関係者、日本人オリンピック又はパラリンピアンと相手国との人的・経済的・文化的な相互交流を図り地域の活性化等を推進し、スポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現を図る。

○参加者：11,964人（2018年12月現在）

### 【ホストタウンアクションとは】

2020年の大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る自治体を内閣官房が「ホストタウン」として登録し、登録された自治体を実施する事業。

アクション名	
オランダサッカー教室2018	
アメリカ男子体操チームが船橋市にやってきます！	
水球カナダ・日本代表エキシビジョンマッチ	
卓球指導会・体験会「宮崎さんと卓球をしよう！」	
第1回北杜市長杯ビーチバレー大会	
ビーチバレー教室	
オリンピック交流会	他



## キッズホスピタルランド2018

- 実施日：2018年11月3日(土)
- 主催：公益社団法人東京都医師会
- 場所：東京都医師会館
- 内容

「運動で健康になろう」をテーマとして、医療と健康についての展示や、身体の仕組みを知らながら効果的に運動するアクティビティ、医師をはじめとする医療従事者の仕事を体験し、楽しみながら知識を得ていく参加型のイベントを実施します。

### 【主催者報告】

本イベントは、幼児から小学生の子どもとその保護者の方々を対象としていたため、WEBや新聞だけでなく、都内各小学校へチラシを配布した結果、定員1,500名に対し、4,000名を超える応募をいただくことができました。実施当日については、「運動で健康になろう」のテーマのもと、身体の仕組みや動き、医療と健康について楽しみながら学んでいただくことができたと考えます。



# アクション&レガシー ファイナルレポートについて

---

# アクション&レガシー ファイナルレポート

## 概要

組織委員会は、2016年7月に「アクション&レガシープラン2016」を策定、以後毎年更新。  
2020年向けに、このプランで定めたレガシーコンセプトに基づいた各種アクションを実施。  
アクションの成果やレガシーについて、大会後に「ファイナルレポート」として取りまとめる。

## スケジュール

2018年度	2019年度				2020年度		
第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	大会後
専門委員会		アクション&レガシー プラン2019		専門委員会		東京2020大会	専門委員会(仮) アクション&レガシー ファイナルレポート

# アクション&レガシー ファイナルレポート

## 全体構成

- ✓ はじめに  
会長・総長の挨拶等
- ✓ エグゼクティブサマリー  
第二章～第六章のサマリー（主な実績を網羅）
- ✓ 第一章 アクション&レガシーレポートについて  
目的等
- ✓ 第二章 スポーツ・健康
- ✓ 第三章 街づくり・持続可能性
- ✓ 第四章 文化・教育
- ✓ 第五章 経済・テクノロジー
- ✓ 第六章 復興・オールジャパン・世界への発信
- ✓ 第七章 東京2020参画プログラム
- ✓ 第八章 東京2020 NIPPONフェスティバルの概要

※参画プログラム一覧は、ホームページへの掲載をもって  
かえる

## 第二章～第六章について

構成案は以下のとおり

- 基本的な考え方（導入）
- レガシーコンセプト
- アクション（主な実績、目玉プロジェクト含む）
- 成果
- 結び／委員長コラム

アスリート委員会が関係する大会エンゲージメント活動について

# ワーキンググループ 1 の活動報告について

---



アスリート委員会が関係する大会エンゲージメント活動について

## 前回アスリート委員会以降の主な活動実績

---

## オリンピック・パラリンピックフラッグ フラッグツアー小中学校訪問イベント

- 「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」の一環として、日本各地でフラッグツアー小中学校訪問イベントを開催。
- 委員が講師となり、実技や昼食交流を通じて、子どもたちにオリンピック・パラリンピックの価値や東京2020大会の魅力等を伝える取組みである。



日時：2018年10月12日（金）  
場所：岐阜県各務原市立那加中学校  
委員：高橋 尚子 委員長



日時：2018年8月24日（金）  
場所：奈良県天理市天理大学  
委員：穴井 隆将 委員



日時：2018年9月10日（月）  
場所：鳥取県鳥取盲学校  
委員：河合 純一 副委員長



日時：2018年10月11日（木）  
場所：京都府舞鶴市立明倫小学校  
委員：齋藤 里香 委員



日時：2018年12月20日（木）  
場所：大阪府泉佐野市立佐野台  
小学校  
委員：上山 容弘 委員



日時：2018年12月20日（木）  
場所：大阪府泉佐野市立佐野台  
小学校  
委員：田口 亜希 委員

## 日本生命 みんなの2020全国キャラバン

- 本企画は、大会パートナーである日本生命相互会社が東京2020オリンピック・パラリンピックを日本全国で盛りあげることを目指して、組織委員会と共催で行うプロジェクトであり、全国各地でイベントを開催している。
- 大阪府でのイベント「わが街アスリート」のトークショーでは、同府出身の上山容弘委員が参加し、東京2020に向けた抱負を語るとともにトランポリンの実演を行った。
- 本企画は、アスリート委員会のアイデア（移動スポーツ教室・わがまちアスリート）の要素を取り入れて下さったアクションであり、委員会のアイデアが具現化したものでもある。

実施日程：2018年9月15日（木）、16日（金）

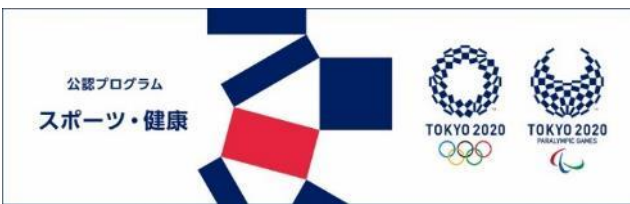
実施場所：大阪府万博記念公園

参加委員：上山 容弘 委員





## 〈UF & iEXPO2018〉ラグビーワールドカップ2019TM 東京2020オリンピック・パラリンピックに『集まろうぜ。』



- 日本電気株式会社（NEC）は、1年後のラグビーワールドカップ2019TM日本大会、2年後の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の会場を満員にし、みんなで盛り上げていこうという目的のもと、展示会にてイベントを実施した。
- 齋藤委員とパラパワーリフティング 山本選手による対談や競技の実演、パラパワーリフティングの体験会も行われた。

実施日程：2018年11月8～9日（木、金）

実施場所：東京国際フォーラム

地下1階ロビーギャラリー

参加委員：齋藤 里香 委員



# 東京2020算数ドリルプロジェクト



- 算数教科書にリンクした副教材を作成し、東京都内全域の公立小学校へ配布  
ドリル問題を解くことで、オリンピック・パラリンピアン、オリンピック・パラリンピック種目、東京大会への興味関心が高める。
- ドリル問題をオリンピック・パラリンピアンが実際に学校に出向いて証明する「実践学習（＝体育のような算数授業）」を併せて実施することで、ありふれた形ではないオリンピック・パラリンピアンの実用を実現。



**28 おおよその面積と体積**

卓球の道具には、ボールの大きさは直径40mm、ネットの高さは1525cmのきまりがあります。しかし、ラケットの大きさには特別なきまりがありません。

小さいラケットでもOK! 普通のラケットでもOK! 大きいラケットでもOK!

卓球の試合が行われる会場は東京体育館です。東京体育館メインアリーナの床のおよその面積と建物のおよその体積を求めましょう。

① およその面積  
式  $32 \times 32 \times 3.14 = 3215.36$

答え [ 約3215m<sup>2</sup> (約3220m<sup>2</sup>) ]  
高さは27mだよ!

② およその体積  
式  $3215 \times 27 = 86805$   
( $3220 \times 27 = 86940$ )

答え [ 約86805m<sup>3</sup> (約86940m<sup>3</sup>) ]

東京体育館へ  
ごえんに来てね!



# 実践学習の様子 (渋谷区立代々木山谷小学校)

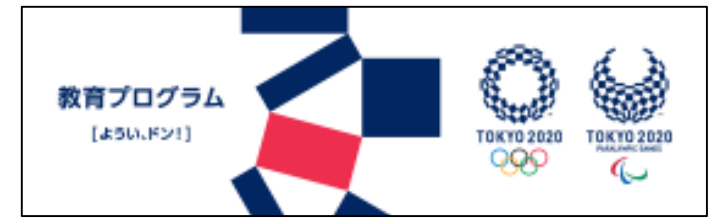


日時：2018年4月12日（木）  
委員：高橋 尚子 委員長



日時：2018年10月22日（月）  
委員：廣瀬 隆喜 委員

## 2018年度はがきでコミュニケーション 全国発表大会



- 日本郵便株式会社が配布している「手紙の書き方体験授業用教材」を使用した授業において、実際にはがきを書いて、相手とやり取りを行った一連の具体的事例を、子どもたちが発表する場として実施。
- はがきのやり取りを通じて、子どもたちの伝える力やコミュニケーション力を育むことを目的としている。
- トークセッションに河合副委員長と関根委員が登壇し、それぞれの手紙にまつわる思い出を話した。



日時：2019年1月27日（日）  
場所：JPタワー ホール&カンファレンス  
委員：河合 純一 副委員長  
関根 明子 委員



アスリート委員会が関係する大会エンゲージメント活動について

## 今後の主な活動予定

---

## 東京2020 みんなのスポーツフェスティバル

- 学校の運動会等を通じて、東京2020大会への参加意識を高めるため組織委員会が実施するプロジェクト。（後程、詳細をご説明いたします）
- 運動会等でのオリンピック・パラリンピックに関連した取組みを公募するとともに、審査のうえ、優れたものを表彰、公式サイト等で公表する。

実施日程：2019年2月公表予定

実施場所：ようい、ドン！スクールの対象となる学校

参加委員：アスリート委員会の皆さま

# オリンピック・パラリンピックフラッグ フラッグツアー小中学校訪問イベント

●東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーの一環である、  
フラッグツアー小中学校訪問イベント。

【小中学校訪問イベントの構成予定】

実施日時：2019年3月15日（金）  
実施場所：山梨県丹波山村立丹波中学校  
参加委員：萩原 智子 委員  
※丹波山村と小菅村の小中学校の合同実施

## ①フラッグ引継ぎ セレモニー・講演

フラッグ引継ぎセレモニー  
講演／質疑応答  
集合写真



## ②給食

アスリートと児童・生徒  
と一緒に昼食を食べ、  
交流を図る。



## ③実技

アスリートと一緒に実  
技で交流し、スポーツ  
の魅力に触れます。



# やまなし大運動会2019

- 萩原智子委員が企画した、地元山梨で開催するイベント。
- 山梨にゆかりのあるトップアスリートが考案したオリジナル競技の大運動会。あわせて、アスリートが講師となり、ラグビー・陸上・サッカー・バレー・水泳の基本が分かるスポーツクリニックも開催する。

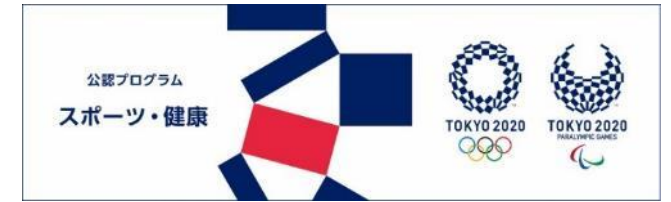
主催：山梨トヨペット株式会社

協力：アシックスジャパン株式会社、株式会社明治  
組織委員会

実施日程：2019年3月16日(土)

実施場所：山梨市民総合体育館・山梨市屋内温水プール

参加委員：萩原 智子 委員



**やまなし大運動会 2019**

スポーツクリニック&運動会!!  
みんなと一緒に楽しみながら、  
トップアスリートに教えてもらおう!

ラグビー	講師	サッカー	紹介	水泳
リベリオン・オリンピック 2人制ラグビー 日本代表 後藤 輝也先生	陸上 シドニー・アスリート・ユニバーシティ パラリンピック 陸上 日本代表 鈴木 徹先生	元フロンフォール準優勝 土橋 宏由樹先生	バレーボール アテネ・オリンピック バレーボール 日本代表 辻 知恵先生	シドニー・オリンピック 競泳 日本代表 萩原 智子先生

日時 2019年3月16日(土) 8:30~15:00  
会場 山梨市民総合体育館・山梨市屋内温水プール  
(山梨県山梨市上石森701)

対象 小学4年生~6年生 定員 100名  
持ち物 お弁当、飲み物、運動ができる格好、室内用運動靴(体育館履き)  
スポーツタオル、水泳を希望される方は水着、ゴーグル

参加無料

「TREAM」ホームページ <http://tream.club>  
申込にアクセスし、必要事項をご記入の上ご応募ください。  
オンライン申し込みの際は、参加申請書に必要事項をご記入の上「申込」をクリックしてください。

申込はこちら

# 日本生命 みんなの2020全国キャラバン



●大会パートナーである日本生命相互会社が東京2020オリンピックパラリンピックを日本全国で盛りあげることを目指して、組織委員会と共催で行うプロジェクトであり、引き続き、全国各地でイベントを開催予定。

実施日程：2018年3月～2020年3月

実施場所：全国47都道府県（各都道府県で1回以上開催）

※2019年1月より九州～北海道～東北地方～関東～中部～中国～四国地方と巡回を予定しています。

参加委員：開催地により、委員の皆さまへ個別にご相談





# アスリート委員会が関係する 大会準備活動について

---

アスリート委員会が関係する大会準備活動について

## ワーキンググループ 2 の活動報告について

---

# ワーキンググループ2の活動報告について 1

## 1. 選手村でのロボット活用

2018年4月19日（木）

イノベティブな大会を目指し、大会時に選手村内でロボット使用が可能かどうかについて議論・意見交換した。

※本件については、現在も調査・検討中

〈関連FA〉

NCS、PGI、イノベーション推進室

〈参加アスリート〉

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

〈参加企業〉

トヨタ自動車



# ワーキンググループ2の活動報告について 2

## 2. リテンションプラン

2018年5月10日（木）、7月9日（月）

大会時、ボランティアにモチベーションを維持しながら長く活躍してもらえるか、過去大会経験者としてアスリートからアドバイスをを行った。

<関連FA>

PEM、NCS

<協力アスリート>

【オリンピック】

池田信太郎（バドミントン：北京、ロンドン）

萩原智子（水泳：シドニー）

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）

【TOKYO2020】

伊藤華英 須藤正和

【敬称略：50音順】



# ワーキンググループ2の活動報告について 3

## 3. 選手村計画に関するレビュー

2018年5月29日（火）

選手村の計画に関し、アスリートの視点に基いてコメントした。

<関連FA>

VIL、NCS

<参加アスリート>

【オリンピック】

池田信太郎（バドミントン：北京、ロンドン）

上山容弘（トランポリン：北京、ロンドン）

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）

【敬称略：50音順】





# ワーキンググループ2の活動報告について 4

## 4. D&I（ダイバーシティ＆インクルージョン）会議

組織委員会が準備するD&I研修に関し、アスリート視点に基づきコメントした。

2018年6月14日（木）

<関連FA>

PEM、NCS

<協力アスリート>

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）

【敬称略：50音順】



# ワーキンググループ2の活動報告について 5

## 5. 国立スポーツ科学センター視察

練習会場チームによる宿泊・飲食施設の検証

・2018年7月6日（金）

< 関連FA >

VNI、NCS

< 視察者 >

- ・会場整備局 総合オーバーレイ課 8名
- ・大会準備運営第二局 練習会場チーム 9名

< 協力団体 >

独立行政法人 日本スポーツ振興センター



# ワーキンググループ2の活動報告について 6

## 6. 第2回 NPC Open Days 参加<参加NPCとの意見交換>

2018年8月29日（水）

各NPCとともにOpen Daysに参加し、競技会場・選手村を視察。

NOC/NPCと同じ目線で意見が言えるように参加した。

<協力アスリート>

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）

【敬称略：50音順】





# ワーキンググループ2の活動報告について 7

## 7. アスリート委員会広報打ち合わせ

2018年10月2日（火）

東京大会・アスリート委員会に関する広報活動についてコメントし、組織委員会側と意見交換を行った。

<関連部署・FA>

広報局、NCS

<協力アスリート>

【オリンピック】

池田信太郎（バドミントン：北京、ロンドン）

高橋尚子（マラソン：シドニー）

萩原美樹子（バスケットボール：アトランタ）

【パラリンピアン】

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）

【敬称略：50音順】



# ワーキンググループ2の活動報告について 8

## 8. NPC Experts Review会議

2018年10月24日（水）～25日（木）

NPCに対するサービスレベルを策定するための会議に出席し、アスリート視点に基づくコメントをした。

<関連FA>

PGI、VIL、FNB、LOG、TRA、  
RTC、SPT、CER、NCS他

<参加アスリート>

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）

【敬称略：50音順】





# ワーキンググループ2の活動報告について 9

## 9.選手村ベッドサンプルについて

2018年12月17日（月）～20日（木）

アスリートに対するサービスレベルを策定するため、ベッドサンプルを体験し、アスリート視点に基づくコメントをした。

<関連FA>

VIL

<参加アスリート>

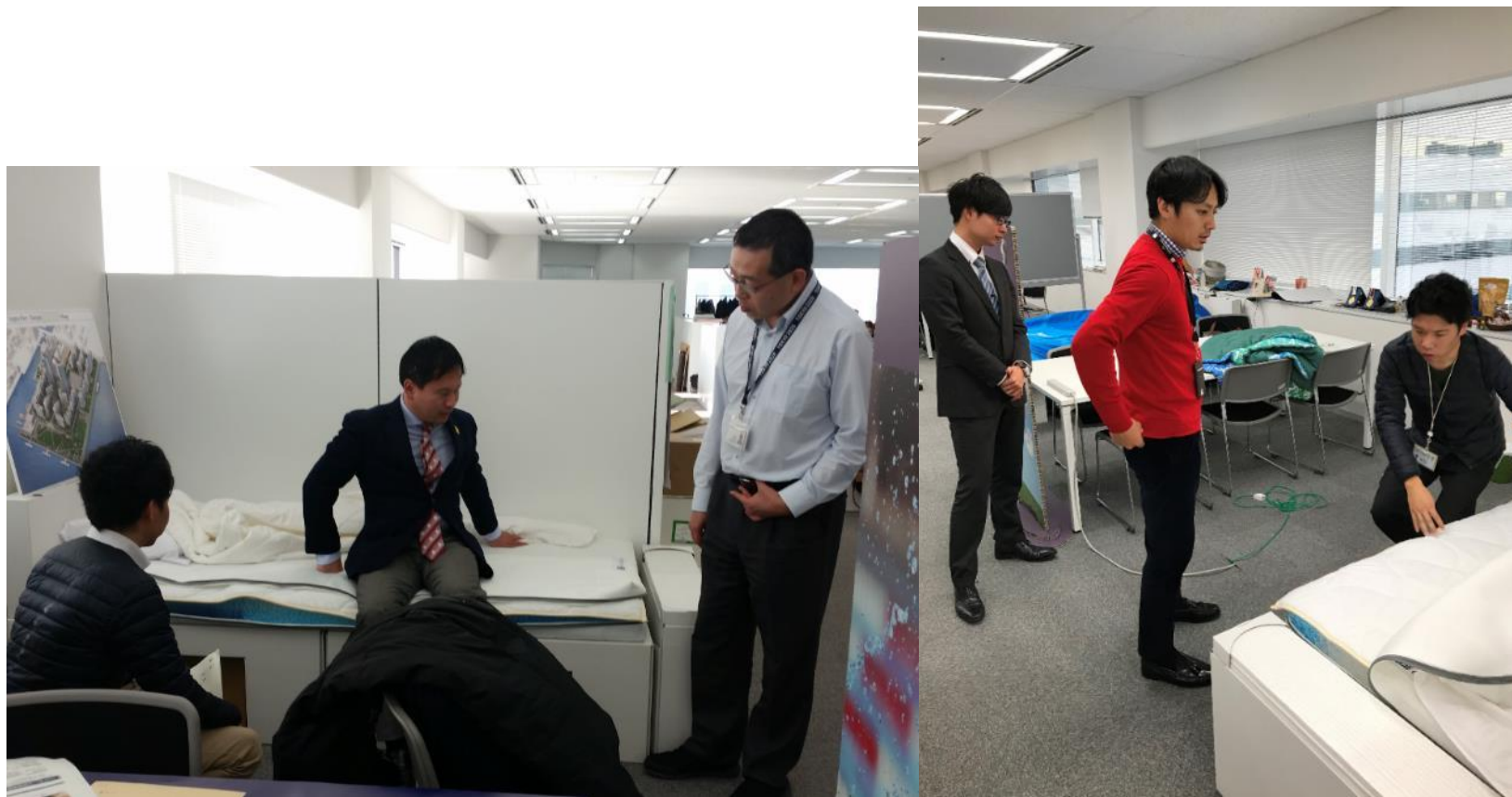
【オリンピック】

池田信太郎（バドミントン：北京、ロンドン）

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

【敬称略：50音順】



# ワーキンググループ 2 の活動報告について 10

## 10. 今年度の活動予定

- 2月下旬 空港での長大手荷物の搬入路 現場検証
- 3月中旬 第5回 NOC Open Days 参加 <参加NOCとの意見交換>
- 3月下旬 選手村視察

平成31年度の計画については、平成31年2月末までに内容検討

# 東京2020 みんなのスポーツフェスティバルについて

---

# 1. プロジェクトの企画趣旨



## みんなのスポーツ フェスティバル

© Tokyo 2020

イメージ図

### 【趣旨】

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下組織委員会という）は、東京2020オリンピック・パラリンピックの準備と運営を行うため、2014年1月に設置された団体です。（日本語版URL <https://tokyo2020.org/jp>）

組織委員会では、学校の運動会等を通じて、東京2020大会への参加意識を高めるため、「東京2020 みんなのスポーツフェスティバル」を実施いたします。本事業は、運動会等でのオリンピック・パラリンピックに関連した取組みを公募するとともに、審査のうえ、優れたものを表彰、公式サイト等で公表するものです。

本事業を通じて、スポーツの力や価値を学びながら、運動会等を楽しんでいただくことを期待するとともに、学校の創意工夫を凝らしたアイデアを全国へ広く情報発信いたします。

## 2. プロジェクトの目的・取組例

### 【目的】

- ・全国の子供たちにスポーツへの関わり方(する・観る・支える)や オリンピック・パラリンピックの価値・意義を学んでいただくこと
- ・運動会等を通じ、東京2020大会への参画意識を高めていただくこと
- ・本事業をきっかけに、東京2020大会以降も、学校の運動会等においてオリンピック・パラリンピック精神や競技に触れる機会を創出いただくこと(レガシーの創出)

### 【応募が想定されるプログラムの例】

- ・オリンピック・パラリンピック精神・競技等の要素を取り入れたプログラム
- ・障がいのある児童・生徒でも参加しやすいよう工夫されたプログラム
- ・聖火リレーの要素を取り入れたプログラム
- ・国際交流など異文化を意識したプログラム 等



### 3. 対象となる学校

東京2020オリンピック・パラリンピック教育実施校（愛称：「ようい、ドン！スクール」）の対象となる学校

※本事業は「ようい、ドン！スクール」として認証されていない学校もご応募いただけますが、この機会に「ようい、ドン！スクール」へのご申請もご検討いただけますと幸いです。

※ようい、ドン！スクール対象校

幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校、専修学校高等課程（高等専修学校）、各種学校として認可を受けた外国人学校

※ようい、ドン！スクールの詳細や申請方法は下記URLからご確認ください

<https://education.tokyo2020.org/jp/teachers/authorization/>

## 4. プロジェクトの体制

### 【実施体制】

主催 東京2020組織委員会 / 東京2020アスリート委員会

後援 スポーツ庁(予定)、日本オリンピック委員会、日本スポーツ協会(予定)

日本障がい者スポーツ協会/日本パラリンピック委員会

### 【審査体制】

#### 〈一次審査〉

東京2020組織委員会による審査…50件程度を選出

#### 〈最終審査〉

アスリート委員会及び後援協力団体による審査…10件の優秀賞を選定

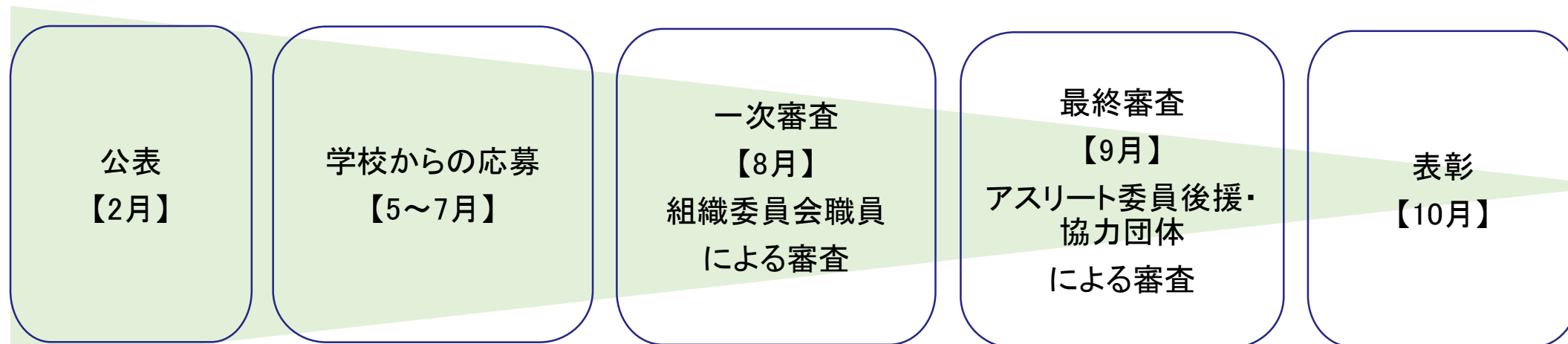
### 【表彰】

優秀賞の他に、後援・協力団体賞を設けるかは検討中

優秀賞受賞校には、表彰状と副賞(特製バトン等)を贈呈

# 5. 表彰までの流れ(春)

## 2019年度春の運動会の場合



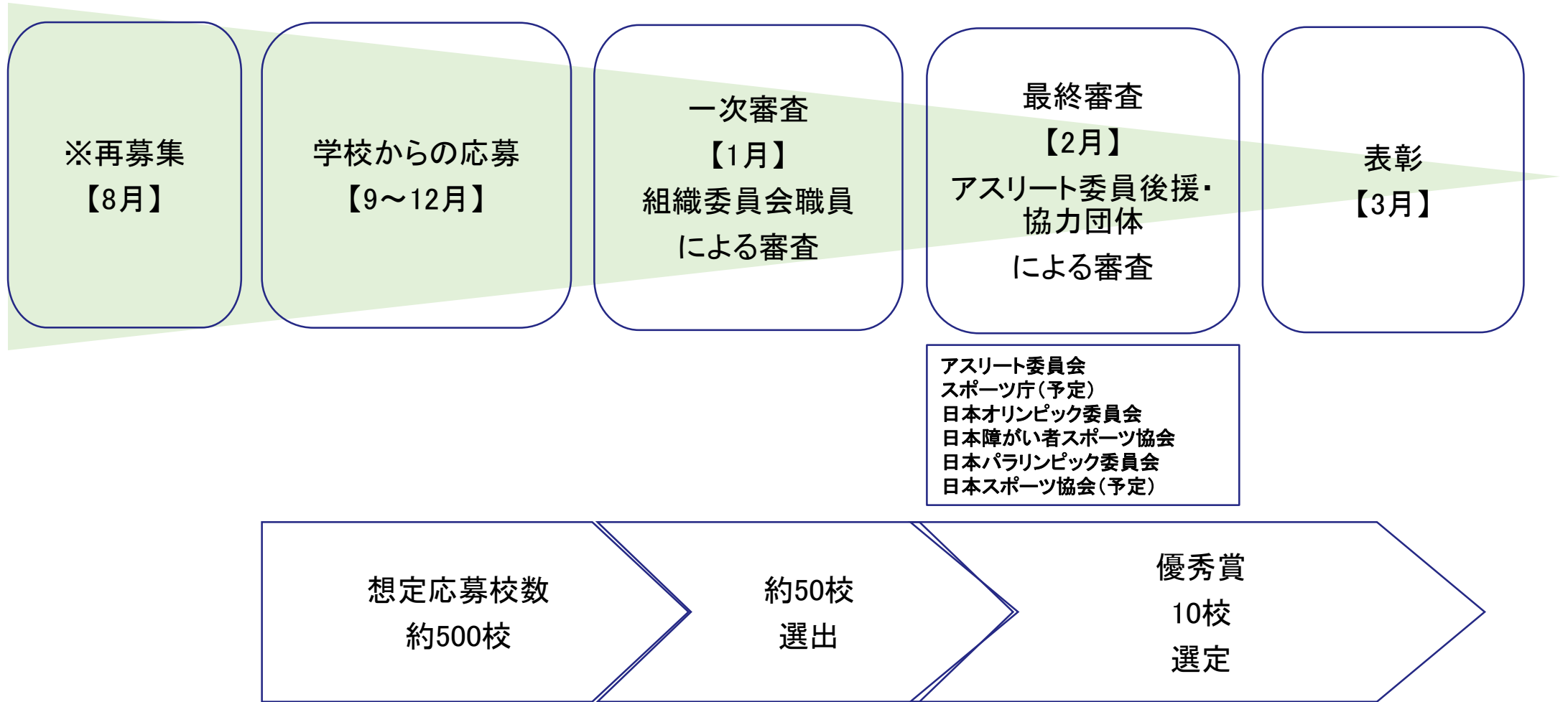
- アスリート委員会
- スポーツ庁(予定)
- 日本オリンピック委員会
- 日本障がい者スポーツ協会
- 日本パラリンピック委員会
- 日本スポーツ協会(予定)



※表彰方法については検討中  
※2019年度秋の運動会についても別途表彰を行う

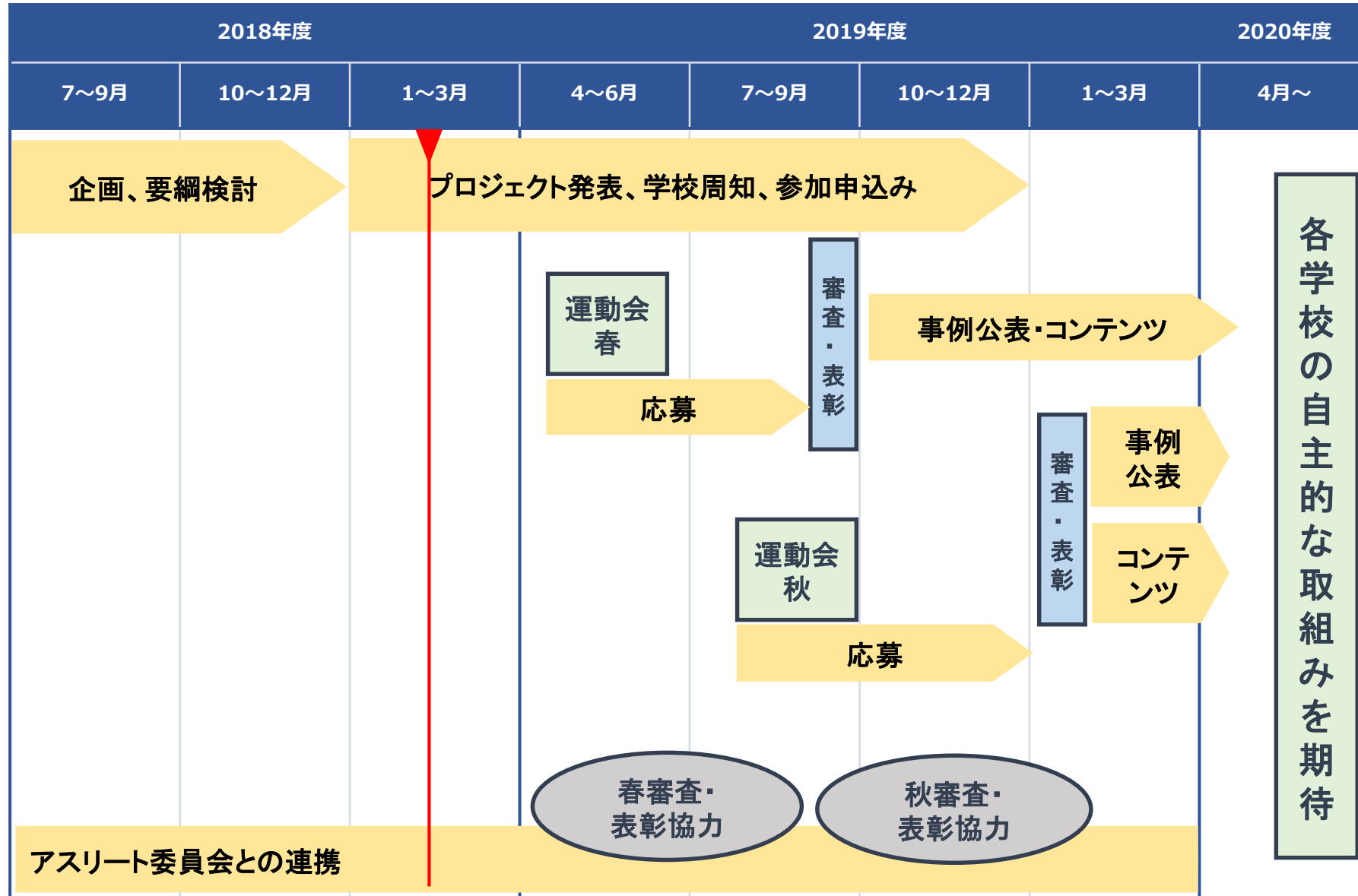
# 6. 表彰までの流れ(秋)

## 2019年度秋の運動会の場合



※表彰方法については検討中  
※2019年度春の運動会についても別途表彰を行う

# 7. スケジュール





# レガシー・レポーティング・フレームワークについて

---

# レガシー・レポーティング・フレームワーク

## レガシー・レポーティング・フレームワークについて

2018年2月21日にIOCがレガシー・レポーティング・フレームワークへの取組について、以下の公表をしたことを受け、東京2020大会においてもIOCの方針に基づき、実施予定。

➤ これまでのOGI調査から、大会開催によるレガシーを把握するための新たな取組(レガシー・レポーティング・フレームワーク)及び従来からの取組である持続可能性に関する報告書へ移行すること。

・OGI調査(Olympic Games Impact Study)とは、オリンピック競技大会の開催が、開催都市や地域の環境・社会文化・経済に与える有形・無形の影響に関する調査のこと。

・レガシー・レポーティング・フレームワークとは、大会が開催都市に及ぼすメリットを把握することを目的とした枠組みのこと。

### 【基本方針】

レガシーフレームワークは、「大会が開催都市に及ぼすメリットの把握」を目的としているため、開催都市である東京都のレガシー創出に向けた取組から項目を抽出し、東京都と連携を図りながら、レガシーフレームワークを策定する。



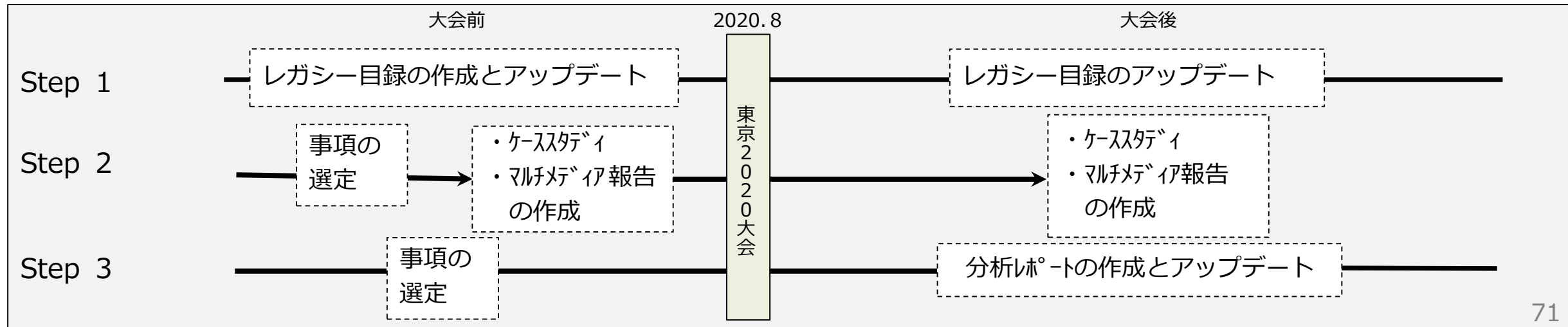
大会開催の短期的な効果、長期的な影響を把握し、大会のレガシーとして発信

# レガシー・レポーティング・フレームワーク

## IOCが提示する概要

- 【Step 1】 ● レガシー目録の作成 –レガシーに関連する取組を記載–
- 【Step 2】 ● ケーススタディの実施、マルチメディアの活用  
–Step 1のうち重要と思われる取組事項を抽出し、詳しく説明–
- 【Step 3】 ● 分析レポートの作成 –更に事項を絞り、変化の要因、大会との因果関係について詳細に分析–

## スケジュール（※詳細は調整中）



みんなの輝き、つなげていこう。

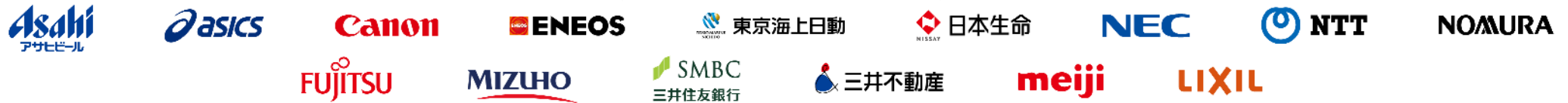
Unity in Diversity



The Worldwide Olympic Partners



Tokyo 2020 Olympic Gold Partners



The Worldwide Paralympic Partners



Tokyo 2020 Paralympic Gold Partners

